

**赤松宗旦(2代義知) 川を単位とする類例の無い地誌「利根川図志」を完成。**

あかまつそつたん

**いざ乃報復**・1806 = 下総国相馬郡布川村で、遠江出身の産科医初代赤松宗旦恵の子に生まれる。

・・・・・・1810 = 4歳：一家で武蔵国千住に転居。

浮世床・・・・1813 = 7歳：父が死去したため、下総国印旛郡吉高村の母の実家に転居。

・・・・・・1815 = **9歳**：

伊能測量終・1816 = 10歳：父と同門だった吉高村の前田宗珉に入門して、医術や漢学などを学び始め、

**水野忠成老中**1818 = 12歳：

**シブト** 舟鳴滝塾1824 = **18歳**：

異国船打払令1825 = 19歳：医を開業、

**シブト** 事件・1828 = 22歳：

**シブト** 追放・1829 = 23歳：母が死去。吉高村の迎福寺に父母の墓を建立。

天保大飢饉始1833 = **27歳**：

天保の飢饉と重なる間、種々の学問を求めて各地を遊歴、

**大塩平八郎乱**1837 = 31歳：

適塾オープン・1838 = 32歳：布川村に帰り、医業を開くとともに、漢学や算術を教え始め、

天保改革始・1841 = 35歳：

**幕府が天保の改革の一環として、利根川流域の大開発計画を打ち出したことに、危機感を覚えたのか、**

天保改革弾圧1842 = **36歳**：

**江戸や利根川流域の多くの学者らと交流して、さらに知見を深め、**

**阿部正弘首座**1845 = 39歳：

尊徳報徳論・1851 = **45歳**：

ペリー来航・1853 = 47歳：

開国開港・・・・1854 = 48歳：**\*「利根川図志」の編纂に着手し、画家を伴って、関宿・栗橋方面に取材旅行に出かけ、**

安政大地震・1855 = 49歳：下総臼井方面に取材旅行するなど、集中的に取り組み、

蕃書調所・・・・1857 = 51歳：**\*「利根川図志」が成り、**

五ヶ国条約・1858 = 52歳：**\*江戸湯島聖堂学問所に開刻御改め願いを提出。許可されて、初版620部を出版する。**

**続いて、後編の執筆に着手、**

**桜田門外変**・1860 = **54歳**：**\*後刷500部を作成するも、桜田門の変等で、販売許可されず、莫大な負債を抱え、**

生麦事件・・・・1862 = 56歳：志し半ばで途中で倒れ、**没した。**